

ロボットの活用で作業効率大幅アップ 物流施設の効率化は止まらない

2019年8月13日

ネットショッピングが拡大する中、物流量が大幅に増加しています。ロボットを積極的に活用し、さらなる効率化を目指す物流施設への需要が高まっています。

ネットショッピングの拡大が
高機能な物流施設の需要
を高めている

ネットショッピングで買い物をしたことがある方は多いと思いますが、近年のネットショッピングの拡大に伴い物流量が大幅に増加しています。その増加に対応するため、物流施設は最新鋭のロボットを利用し、より効率的な配送を目指しています。

人と比較してロボットの
ピッキング効率は4倍以上

注文が入ると、物流施設内のロボットが該当する商品を保管している棚の下に入り込み、棚ごと従業員が作業している場所まで運びます。棚が到着すると、従業員は棚から商品をピッキング（取り出すこと）し、配送用のコンテナに移し替えます。某国内家具メーカーの物流施設では、このようなロボットを導入し、人間だけで行う場合と比較し、ピッキング効率は4倍以上となったとしています。

ロボットの導入前は、従業員が施設内を歩き回り、注文された商品をピッキングしていましたが、一人当たりの1日の歩行距離は10kmを超えることもあったそうです。ロボットは床に貼られたQRコードをもとに自分の位置を把握しており、互いにぶつかることなく動くことが可能です。

ハイテク物流施設の需要
は今後も継続

物流施設は非常に広大な面積であることが多く、商品を人間が運ぶのは効率が悪いため、このロボットの利用により、人間は施設内を歩き回る必要がなくなります。ロボットは、数百キログラムの重さに耐えられるものもあり、その実用性は非常に評価されています。

現在は、棚から商品を取り出す作業は人間が行っていますが、この作業さえも行えるようなロボットの開発が進められており、さらなる効率化、省人化が進むと考えられます。将来的には、完全無人化の物流施設が実現するものもそう遠くはないかもしれません。物流コストの増加に悩む企業は多く、ハイテク物流施設の需要は今後も継続すると思われます。

物流施設でのロボット導入のメリット

従来は人間が倉庫内を歩き回り、商品を棚から取り出していた

ロボットが商品の入った棚のところまで行き、梱包作業を行う人間の場所まで棚ごと運ぶ



ハイテク
物流施設なら...



ピッキング効率
大幅アップ

省人化



倉庫内を人間が歩き回る必要がなくなる

上記はイメージです。

特設サイト「AIやIoTが引き起こす第4次産業革命を支えるTECHNOLOGY INFRASTRUCTURE テクノロジー・インフラ」公開中。
左記QRコードが読み取れない場合は、2ページ目に拡大したQRコードを載せていますので、ご利用ください。



特設サイト「AIやIoTが引き起こす第4次産業革命を支えるTECHNOLOGY INFRASTRUCTURE テクノロジー・インフラ」公開中。
左記のQRコードもしくは (https://www.pinebridge.co.jp/fund/40311181/tech_infra.html) からご覧ください。

ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会